

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	2単位	助産師必修
担当教員			
◎増澤祐子、八巻ちひろ、五十畠麻奈美、塚田文枝、笠井靖代、境原三津夫			
添付ファイル			

授業種類	【開講】 前期	【授業時間】 60時間	
	【担当教員】 【氏名】 ◎増澤 祐子 八巻 ちひろ 五十畠 麻奈美 塚田 文枝 笠井 靖代 境原三津夫 上野 直美 春日 瑞里子	【所属】 新潟県立看護大学 同上 同上 同上 日本赤十字社医療センター 桐生大学保健医療学部 新潟県立中央病院 同上	【研究室】 309 共同研究室2
【本学の科目区分】 専門科目			
【D P 1】 ○ 【D P 2】 ◎ 【D P 3】 ○ 【D P 4】 ○ 【D P 5】 ○ 【D P 6】 ◎			

到達目標	1. 分娩期における助産診断の特徴を説明できる 2. 分娩期の診断と援助に必要な知識を修得し、助産過程の展開ができる 3. 分娩介助者(直接介助者、間接介助者)の役割について説明し、基本的な介助技術を修得できる 4. 分娩進行に伴う正常経過逸脱の予測、予防のアセスメントの視点を説明できる 5. 分娩期の異常や緊急時の対応について説明できる
------	--

授業概要	産婦（胎児を含めた）の身体的・心理的・社会的特徴および正常経過、起こりやすい健康問題を理解し、科学的根拠に基づいた助産過程の展開と緊急事態に対応するために必要な知識・技術を修得する。分娩期の助産診断と分娩介助技術を修得する。
------	--

授業計画	1	授業内容 授業形態：対面授業 学修課題：分娩期の助産診断 学修内容：分娩の生理、分娩期の助産診断の特徴と診断類型 備考：八巻
	2	授業内容 授業形態：対面授業 学修課題：分娩期のフィジカルアセスメント 学修内容：産婦の健康診査、分娩開始の診断、分娩期の経過診断、胎児の健康状態のアセスメント、胎児付属物のアセスメント、母体の健康状態のアセスメント 備考：八巻
	3	授業内容 授業形態：対面授業 学修課題：分娩期の心理・社会的変化 学修内容：産婦の心理・社会的变化、産婦の日常生活活動の充足と適応、家族の心理・社会的变化 備考：八巻
	4	授業内容 授業形態：対面授業 学修課題：分娩経過の診断・アセスメントとケア① 学修内容：分娩期の助産診断とアセスメントの特徴、助産過程の展開、入院時の診断・アセスメントとケア 備考：八巻
	5	授業内容 授業形態：対面授業 学修課題：分娩経過の診断・アセスメントとケア② 学修内容：分娩第1期の診断・アセスメントとケア 備考：八巻
	6	授業内容 授業形態：対面授業 学修課題：分娩経過の診断・アセスメントとケア③ 学修内容：分娩第2、3期の診断・アセスメントとケア、分娩第4期までの診断・アセスメントとケ

		<p>ア 備考：五十畠</p> <p>7-10 授業内容 授業形態：対面授業 学修課題：分娩期の事例展開 学修内容：紙上事例を用いた分娩期の助産過程展開 備考：増澤、八巻、五十畠、塚田</p> <p>11-12 授業内容 授業形態：遠隔授業 学修課題：分娩期の異常 学修内容：産科手術および産科的医療処置（分娩誘発・陣痛促進法、帝王切開術） 備考：笠井</p> <p>13 授業内容 授業形態：遠隔授業 学修課題：分娩期の異常 学修内容：産科的医療処置（無痛分娩） 備考：境原</p> <p>14 授業内容 授業形態：対面授業 学修課題：分娩期の異常へのケア① 学修内容：緊急事態への対応準備、緊急時の処置、ケア、分娩誘発・陣痛促進時の助産診断とケア 備考：塚田</p> <p>15 授業内容 授業形態：対面授業 学修課題：分娩期の異常へのケア②とCTG判読 学修内容：帝王切開術、無痛分娩時の助産診断とケア、CTG判読 備考：五十畠</p> <p>16-17 授業内容 授業形態：対面演習 学修課題：分娩介助に伴う技術 学修内容：内診、CTG、産痛緩和、胎盤計測 備考：五十畠、八巻</p> <p>18 授業内容 授業形態：対面授業、演習 学修課題：分娩介助技術の原理原則 学修内容：分娩介助の目標と準備、分娩介助法の実際、分娩体位 備考：塚田、八巻</p> <p>19-21 授業内容 授業形態：対面授業、演習 学修課題：分娩介助技術デモンストレーション 学修内容：分娩介助の原理原則、分娩介助技術実演、説明 備考：五十畠、塚田、増澤</p> <p>22-24 授業内容 授業形態：対面演習 学修課題：分娩介助技術演習 学修内容：分娩介助手順、技術チェックリストを用いた自己課題チェック 備考：五十畠、塚田（自己学習、適宜助言・指導）</p> <p>25-28 授業内容 授業形態：対面演習 学修課題：分娩介助技術評価 学修内容：分娩介助技術チェック 備考：増澤、五十畠、塚田</p> <p>29 授業内容 授業形態：対面演習 学修課題：病院における分娩介助法の理解 学修内容：各実習施設における分娩介助法 備考：非常勤講師（上野、春日）</p> <p>30 授業内容 授業形態：対面演習 学修課題：病院における分娩介助法の理解 学修内容：各実習施設における分娩介助法 備考：非常勤講師</p>
事前・事後学習		事前学修：事前にシラバスを確認して、テキストの該当内容を予習し、提示課題の学修をすること。分娩介助手順を熟読すること 事後学修：自己課題を見出し、自主的に自己学修、自己演習に励むこと
評価方法、評価基準		到達目標1、2、4、5に対して、筆記試験(40%)と課題(20%)で評価 到達目標3に対して、分娩介助技術評価試験(40%)で評価
テキスト		助産学講座7 助産診断・技術学II [2] 分娩期・産褥期 今日の助産（改訂第4版）一マタニティサイクルの助産診断・実践過程、南江堂 日本産婦人科学会/日本産婦人科医会、産婦人科診療ガイドライン 産科編2023 図説CTGテキスト助産実践能力習熟段階レベルⅢ認証必須研修CTG対応テキスト、MEDICAL VIEW 根拠と事故予防からみた母性看護技術 第3版、医学書院
参考図書・資料等		助産師基礎教育テキスト2025年版 第5巻 分娩期の診断とケア、日本看護協会出版会 助産師基礎教育テキスト2023年版 第7巻 ハイリスク妊娠褥婦・新生児へのケア、日本看護協会出版会 荒木勉、最新産科学(正常編) 第22版、文光堂 荒木勉、最新産科学(異常編) 第22版、文光堂 病気かみえるVol.10産科 第4版

	アセスメント力を磨く助産師のためのフィジカルイグザミネーション(第2版), 医学書院
受講、課題、資料配布等のルール	課題を提示するので、事前に学修をして授業に臨むこと 授業には積極的に参加し、主体的に学修する姿勢で臨むこと 学生が演習室の使用および準備から終了まで主体的に運用すること ※授業内で随時資料を配布します
教員からのメッセージ	本科目は助産学実習の前提科目であることを意識して授業に臨んでください 技術評価試験は助産学実習履修のための前提条件となるため、日々自己演習に励んでください
オフィスアワー	在室時、可能な限り対応します